

先の話(母の日の日曜日午後的一時)の続きー近況報告に変えて

ある晴れた土曜日の午後

梅田 富雄(化工会)

久し振りに原稿を書くことがない土曜日、昨夜のニュースナインで五木寛之の「大河の一滴」についての対談がリモートで行われ、今読んでみる価値があることをニュースキャスタが述べたことを思い出し、書庫を探して読み始めたところでした。

午前中に腰の痛みを和らげるためにマッサージに出掛け、散歩もままならない状況であり、食後にテレビで録画していた空港ピアノ、ミネアポリスをワイフと一緒に観ました。プロのミュージシャンや高校生、かなり年配のお年寄りなど、種々の人が気楽に自分のお家芸を披露していました。それぞれの人生、いろいろなことを話して立ち去って行きましたが、ピアノが人生にとって欠け替えないものになっていたようです。日本医もこのような場がないか、少々気懸りになりました。コロナ禍のため、コンサートはすべてキャンセル続きで少々いら立ちを感じていたので、リラックスして軽音楽中心のピアノ演奏を楽しむことができた午後のひと時でした。(2020年5月30日午後)

空港ピアノ放映に一息ついた日曜日の午後

今日は、新しい原稿を書き初めての週末、コロナ禍のテレビに一喜一憂している中、久しぶりに「駅ピアノ」を楽しむことができた日曜日でした。以前から日本には駅や空港にピアノを設置して楽しめるところはないのかと嘆かわしく思っていたのですが、今日の放送は、「駅ピアノ神戸」であることを知りホットしました。神戸は市が率先してこのようなことを企画し実現しているとのこと、市内に16か所かストリートピアノが置かれ。誰でも楽しめるようになっているとことです。6月13日土曜日夜6時からNHK BS1で「駅・空港・街角ピアノ」

特別番組を放映するとのことですので。興味があれば視聴してみたいかでしょうか。

新たな原稿はポストコロナ禍にはどのように対処すべきか、マッキンゼイやデロイトの関連記事を読むにつけ、考えてみることにした次第です。やがて収束すると思うが、現在のコロナ禍で外出自粛が日常化してパソコンの前に座る時間が増えた結果、姿勢が前のめりで、かつ腰に負担がかかって近くのマッサージを専門家から受けるは身になりました。短期的に腰痛を直し長期手に姿勢を矯正する試みを続けることになりました。今書いている原稿も長期、短期の両面から対処する方策を中心に展開しつつあり、と凝り話題になる「両利きの経営」を参考にしていますが、リモートワークが重要な方策になるようで、手っ取り早く

デジ多化をスピーデーに推進し、人やモノをつなぐ IoT インフラの整備が急務という立場で短期的な対応を行い、Society .5.0 やデータドリブン経営を目指す長期的な対応の第1歩として早急にデジタルフォーメーションを実現することを提言しようとしています。企業経営と同様に、人間のトラブル解消も長期、短期で実施することを書くことになり、企業運営の生物学的なアナロジーが成立することを実感しています。（2020年6月7日午後）